

## 令和2年10月 岩手県教育委員会定例会 会議録

### 1 開催日時

開会 令和2年10月22日(木) 午後1時30分

閉会 令和2年10月22日(木) 午後2時33分

### 2 開催場所

県庁10階 教育委員室

### 3 教育長及び出席委員

佐藤 博 教育長

小平 忠孝 委員

畠山 将樹 委員

新妻 二男 委員

宇部 容子 委員

小野寺 明美 委員

### 4 説明等のため出席した職員

佐藤教育局長兼教育企画室長、梅津教育次長

渡辺教育企画推進監、山村参事兼教職員課総括課長、高橋県立学校人事課長、金野小中学校人事課長、木村学校調整課総括課長、森田高校改革課長、須川高校教育課長、高橋特別支援教育課長、藤原生涯学習文化財課総括課長

教育企画室：菊池主任主査、長内主事（記録）

### 5 会議の概要

#### 第1 議席の決定

本定例会以降の議席を決定

#### 第2 会期決定の件

本日一日と決定

事務報告1については、議案第20号の決定に関わるものであり、その決定後に報告することとされた。

#### 第5 議案第20号 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則（学校調整課）

別添議案により説明

原案どおり決定

#### 第3 事務報告1 令和3年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について（学校教育課）

別添事務報告により説明

#### 第4 事務報告2 令和3年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について（学校教育課）

別添事務報告により説明

小平委員：盛岡視覚支援学校は、今年度の希望者が0名で、来年度は希望者がいることを想定しているということですか。

高橋特別支援教育課長：今年度は、前年度の中3生が0名であったことに加え、応募ありませんでしたが、来年度は、現在の中3生が高校1年となることから1学級増とするものです。

第6 議案第21号 文化財の指定及び保持団体の認定並びに追加指定に関し議決を求めることについて  
(生涯学習文化財課)  
別添議案により説明

小平委員：特に無形文化財は年々減少している印象があるので、このように指定して保護していくことは重要なことだと思う。指定した後も定期的に、保存や継承の状態について経過観察をしてほしいです。  
藤原生涯学習文化財課総括課長：御指摘のとおり、無形民俗文化財の保存、保護につきましては、大きな課題と捉えております。現在、県では文化財の保存と活用の大綱について策定を進めているところでして、その中で今後のあるべき姿を考えて参りたいと思います。また、県の大綱をもとに市町村が地域計画を策定する流れになっていますので、市町村に対しても、周知を図りながら働きかけて参りたいと考えております。

原案どおり決定

第7 議案第22号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて (教育企画室)  
別添議案により説明

原案どおり決定

第8 議案第23号 令和3年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて (教職員課)  
別添議案により説明

畠山委員：人事異動には強いメッセージ性があると思うので、教職員がキャリア形成においてモチベーションを上げていけるようにしてほしいです。4(1)なお書きの女性教職員に関する部分について、介護や育児などで管理職を目指すことにつながらないと以前伺ったが、全県異動や夫婦を同一管内に配属しない運用が課題としてあるという認識で合っていますか。もし、そうなのであれば、そこに踏み込む考えはありますか。

高橋県立学校人事課長：個々の家庭事情を伺って配慮することで進めており、今年度も、家庭の理由で地域的な限定があるという方をその地域に配置することをしていますし、明文化しておりませんが、人事ヒアリングの中で対応していきたいと思っております。

金野小中学校人事課長：小中学校の人事についても同様であります。家庭の事情がある方については、教育事務所や市町村教育委員会でのヒアリングを踏まえて、その事情に沿うよう努めてまいります。女性管理職については、マネジメントに自信がないことや家庭事情を理由に希望しない方が多いと把握しています。教職大学院などに能力と意欲のある女性教職員を積極的に派遣したり、教務主任や研究主任などの主任級への配置などによりキャリア形成を支援しております。

宇部委員：1の東日本大震災津波からの教育の復興の推進について、昨日までの2日間、沿岸部の学校を訪問させていただきました。各校とも若い先生方が多く、教員と生徒の関係も良好で子どもたちもすごく明るい雰囲気でした。被災地の子どもたちにとって若い力が、良い影響を与えている状況を見せていただきましたので、全県的な配置の配慮があると思えますけれども、子どもたちと先生方が希望を持って教育に携われるようであればいいと思っています。

金野小中学校人事課長：震災後に沿岸部に異動した先生方は、津波当時の状況の伝承に努めております。自ら心のサポートの研修会に参加したり、復興防災教育について学んだりしている先生方も多いですので、県教育委員会としても引き続き支援してまいります。

小平委員：この人事異動方針をどのように運用するかが最も大事だと思う。私の経験上、女性教職員については、子育てもさることながら介護が大きな課題となってくると思っているので、人事を検討する上で考慮してほしい。また、先ほども話が出ていたが、昨日までの2日間の学校訪問で見てきた学校は、非常に素晴らしかった。机上の理論だけでなく、現場でどう具現化していくかを重視してもらいたい。

教師が最も育つ経験は学級担任を持つことだと思う。子どもたちに寄り添って頑張った先生は管理職になってからの学校経営が上手くいっている。主任級を経験したことだけでなく、どういう実践教

育をやってきたのかを、校長・副校長がしっかりとヒアリングしてもらいたい。  
佐藤教育長：御指摘のあったように、現場でいかに具現化していくかにつなげるべきだと思いますので、実際の人事に当たっても心して取り組んでいきたいとします。

原案どおり決定

議案第 24 号については、非公開とする議決がなされた。

第 9 議案第 24 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（教職員課）  
別添議案により説明

原案どおり決定

〔戒告 横断歩行者等妨害等（重傷事故） 60 歳代 女性 中学校 教諭 県北沿岸部〕

会議結果の公表は、教育長に一任することとして議決された。